



東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター 難聴児教育セミナー 2016

聴覚障害児のリテラシー —マーク・マーシャーク博士を招いて—

日時：2016年6月12日（日）10:00～16:10

会場：東京医科大学病院 6階 第2・3会議室

〈プログラム〉

開場 9:30

【はじめに 10:00～10:10】

河野 淳（東京医科大学耳鼻咽喉科教授 / 聴覚・人工内耳センター部長）

【第1部 10:10～11:30】

『日本語指導をめぐる様々なアプローチ』

—書き言葉への移行期の指導を中心に—

（司会：齋藤友介 先生）

1. 筑波大学附属聴覚特別支援学校 関 圭子 先生
2. 日本聾話学校 吉田美由紀 先生
3. 明晴学園 澤村和哉 先生

〈マーシャーク博士によるコメント〉

11:30～12:30 昼休憩

【第2部 12:30～14:00】

『聴覚障害児のリテラシーと学力』（仮）

マーク・マーシャーク博士（ロチェスター工科大学 NTID 教授）

小休憩

【第3部 14:15～16:00】

『わが国における聴覚障害児のリテラシーについての研究動向』

（司会：四日市章 先生）

1. 「聾学校に在籍する児童生徒のリテラシー」 澤 隆史 先生（東京学芸大学）
2. 「難聴児にみられる高い日本語力の背景要因」 鄭 仁豪 先生（筑波大学）
3. 「手話使用児の日本語発達と指導」 武居 渡 先生（金沢大学）
4. 「人工内耳を装用する小・中学生の学力」 齋藤友介 先生（大東文化大学）

〈マーシャーク博士によるコメント〉

【閉会の辞】 16:00 齋藤友介 先生

英語通訳、情報保障(PC、手話通訳)がつきます

参加ご希望の方へ：参加費は無料。参加制限はありませんが、会場の関係上、参加ご希望の方は当センターまで事前にご連絡ください。（連絡先は <http://acictmu.jp/> をご参照ください）

主催：東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター
共催：日本聴覚言語障害学会